

青木繁「海の幸」が描かれた小谷家 南房総・布良を訪ねる旅

青木の造形の核心に迫れるか、
安房神社例祭の神輿（みこし）は、
ぜひ、見ておきたい。

2013年8月10日（土）

旅行代金：¥11,000-（あわがいどマップ付き）

いまから100数年前、明治37年夏、青木繁は、彼を敬愛してくれる美しい福田たねとの布良滞在は、短い生涯のなかで幸せの絶頂を味わっていた。古代神話の海人を彷彿させる「海の幸」を描いた館山市布良の“小谷家”は、もとは網元の家で築130年を経て当時のまま残されています。私たち美術関係者は、これを『修復して、文化財として一般に公開』また、『南房総一帯の自然環境保全にも貢献』したい考えです。今回は「海の幸」のイメージソースのひとつといわれる安房神社の神輿出御を見学するため例祭に合わせて日程を組みました。この機会に地元をご覧ください、これからもご理解と応援を賜れば幸甚です。NPO法人青木繁「海の幸」会（後援：館山市・館山市教育委員会） 事務局長 吉岡友次郎

◆日程

時間	行程
08:00	JR東京駅 集合・出発 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>青木繁ゆかりの地を地元の関係者がご案内します</p> <p>「海の幸」誕生の家“小谷家”、「海の幸」記念碑、阿由戸の浜など。 安房神社では「海の幸」のイメージソースの一つといわれる安房神社の神輿出御をご覧くださいます。※昼食はお弁当の予定です</p> </div>
19:30	JR東京駅・解散

※日程表の時刻はあくまで目安です。確定した時刻は最終の案内書でご確認下さい。
また、交通機関の状況により変更となる場合がございます。予めご了承ください。



小谷家（館山市指定文化財）

青木繁と小谷家の、ひと口案内

明治浪漫主義時代を駆け抜けた夭折の天才画家と称される、青木繁は、明治37年東京美術学校を卒業して間もない頃、坂本繁二郎・森田恒友・福田たねを伴って、南房総の漁村 布良を訪れる。日本近代洋画史上の話題作といわれる「海の幸」（国の重要文化財）は、この寄寓先の小谷家（館山市指定文化財）で制作された。周辺の環境も含めて、歴史的・文化的観点から保存と保全が重要視されている。

〔旅行主催〕：株式会社トラベルプラン

〔企画〕：NPO法人青木繁「海の幸」会（後援：館山市・館山市教育委員会）

〔協力〕：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会（NPO法人安房文化遺産フォーラム）